

4 才二次一本釣漁場調査

1. 調査期間 1962年 4月14日至5月10日 27日間

調査海域 (イ) 南支那海マックスフィールドバンク及びパーカーバンクと其の西方200
海里の海域

(ロ) 東支那海の尖閣諸島附近海域 (別紙漁場図の通り)

調査項目 (イ) 漁場の状況

(ロ) 獲魚の種類と分布状況

(ハ) 漁獲物の鮮度保持試験

2. 使用船舶及び乗組員

(イ) 西南丸(鋼船15251t, 400HP)

(ロ) 中村船長及外22名 (研修生2人, 臨時乗員4名を含む)

調査員 漁務室長 城田博位, 調査員 上地清吉

3. 行動及び調査経過

- 1962年4月14日 15h-15m 那覇港三重線岸壁離れ漁場に向。17h-
15m 度喜島沖に投錨。(沈子用石採集のため)
- 4月15日 15h-15m 同前投錨漁場に向。
- 4月16日 降下中
- 4月17日-19日 降下中
- 4月20日 08h-06m マックスフィールド、バンクのPLOV Sh.
到着直に調査開始。本日は同 Sh と Bassett Sh の間を急
深部附近の60-150mの水深部に於て操業調査実施す。
- 4月21日 Bassett Sh と Balfour Sh の間の急傾斜部附近水深
60-105mの所を24回に亘り、13回目からは機測浮標を
投入して操業調査実施した。
- 4月22日 Balfour Sh 東方6里位の地点から西方 Penguin Bank
の間を、午前中は Parry Sh と Cawston Shc の中間部
由部50-75mの水深部を調査したが操業香ばしくなかつたの
で、Penguin Sh に北上、魚群索獲の結果海底状況悪く、操
業も認められないので、更に逆戻りして Balfour Sh 東方6
里の魚場に至り、調査をなす。
- 4月23日 Bassett Sh 西154-265' 及、114-06' の地点を
中心とした水深55-120m位の急深部附近を機測浮標を設置
して前後27日操業調査実施した。本日の操業高は440尾で本
調査期間中の1日水深高は最高であった。
- 4月24日 Balfour Sh 附近より Bassett Sh の間を(水深40-
120m)前後18回操業調査した。
- 4月25日 Smith Sh と Balfour Shc の間を調査した。
鮮度保持試験のため、魚体を「ポリエチレン」袋詰として氷凍
す。

- 1962年4月26日 Bairrer Sh と Barnett Sh の中間 15°-25' N, 114°-55' E の地点に標識浮標を投入して操業実施す。水深 50-120 m、本日も魚体群生試験のため「ポリエチレン」袋筒にして実施す。
- 4月27日 昨日と同じ漁場に於て調査実施す。底質は岩又は珊瑚礁及び砂等で起伏も多いため網の漂掛り多く6組もの網を切断した。
- 4月28日 昨日と同じ漁場で調査実施。主に80-90 m の水深で実施した。本日も網掛り多く7組も網を切断した。尚「沈子」を切らした者も多数あった。
- 4月29日 25日以來投入したまゝだった浮標を本日の操業回次13回目終了後14日-45分を以て収容し漁場を東に移動す。本日は前後17回操業、調査実施す。17回目の操業位置は Smith Sh 東方 15°-26.5' N, 114°-15' E であった。本日を以て同緯南側の調査を一応終了したので、北側の調査をすべく北上航走す。
- 4月30日 08日-05分 Banko Sh. 東方3裡附近水深67 m (15°-59' N, 114°-09' E) の漁場を戻り次に次第に北東に移動しながら Magpie Sh., Carpenter Sh., Oliver Sh 附近まで前後10回に亘り調査実施す。この附近漁場の海底状況を魚探により調査した結果は、水深120 m 以深は概ね30' 位の傾斜で次第に深くなって居り、起伏は全く平穏であるので原魚の棲息には余り適しないように推察された。然し水深120 m 以浅60 m 位までの場所では起伏も多く、ヒメダイの幼魚も多数捕獲された。本日を以て Macleodfield Bank の調査を打ち切り、更に北上して 20°-00' N 114°-00' E 附近の200 m 前後の漁場を調査すべく北進航走す。
- 5月1日 北上中
- 5月2日 05日-45分 予定の漁場に到着。06日-30分 から200 m 網筒に漁場探索しながら07日-07分 第1回操業実施し、次第に東方に移動して前後4回水深175-230 m の所を調査したが漁況はわからず、14日-35分 調査を打ち切り Veraker Bank 向け航走す。
- 5月3日 South Veraker Bank の南東部 21°-56' N, 115°-59' E を中心に附近の65-95 m の水深の所で前後19回操業調査実施す。
- 5月4日 North Veraker Bank の北西部 (21°-04' N, 119°-59' E) 附近を2回操業したが潮流速く、漁場の確保が困難のため、同漁場での調査を打ち切り South Veraker Bank の南側の漁場に廻り、同所で14回、本日合計15回操業実施した。本日を以て当該漁場の調査を終り東支那海漁場に向う。